

□ 要請番号 (JL55425A12)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ジンバブエ	C105 バイオテクノロジー	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・ 2025/3 ・ 2026/1 ・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

高等教育・科学・技術開発省

2) 配属機関名（日本語）

チノイ工科大学

3) 任地（西マシヨナランド州チノイ市） JICA事務所の所在地（ハラレ州ハラレ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 2.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

チノイ工科大学は、自然科学、芸術、経営学、工学、観光学等11学部を有し、約14,000人の学生が在籍している。1999年にジンバブエ大学の生産工学とホスピタリティ・ツーリズムの2つの学位を提供するプログラムとしてスタートし、2001年に大学として再編された。同大学は、質の高い教育を提供すべく、科学・技術・工学・数学を主体に革新的な戦略を採用し、またICTの活用やエンジニアリング、農業、ホスピタリティ、アート・デザイン等を推進している。隊員が配属される自然科学学部には、生物学、化学、物理学、数学という4つの学科があり、3年次には産業派遣実習(特定分野の課題解決研究実習)に参加する。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ジンバブエ政府は2030年までに上位中所得国入りを目標に「研究・イノベーション・産業化」を重視し、国の発展に繋げるEducation5.0という方針を打ち出している。配属先ではこうした方針を具体化する為、キャンパス内には実験室を含む最新設備を整え、学内活動の産業化や学生への実践的取組の機会を提供している。しかしながら、分子生物学における専門知識が不足しており、学生やスタッフの能力向上が喫緊の課題である。日本の技術や知見を隊員から直接学ぶことで、より高い知識と技術が身につくことを期待しており、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と共に以下の活動を行う。

- 実験室で、分子生物学の試験研究を実施しながら、分子生物学に係る助言と知識・技術を共有する
- 産業派遣実習に向けた産業現場訪問によるモニタリングや評価を行う
- SOP(標準業務手順書)の見直し作業を行う
- その他、配属先の日常業務も行う

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、ホワイトボード、プロジェクター、インターネット、実験室

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
化学科のスタッフ8名

活動対象者:

化学科の学生20名(18-50歳)
化学科のスタッフ8名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）
[性別]：（ ） 備考：
[学歴]：（大卒）生物工学 備考：大学での指導の為
[経験]：（実務経験）3年以上 備考：実習指導・監督する為
[参考情報]：
・分子生物学の知識・経験があること(必ず)

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（5～30℃位） [電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

全国的に電気は不安定であるがJICA事務所からポータブル電源を貸与可能 [ジンバブエ情報サイト](#)
[チノイ工科大学HP](#)